

事業所名 放課後等ディサービスlapoale

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

2月

1日

法人（事業所）理念		デザインとアイデアを正しく使い、世の中を幸せにする					
支援方針		専門的なアプローチに特化し、お子さまの「可能性」を引き出す					
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	児童の健康と安全な生活を支援するため、健康状態の把握を行い、障害の特性に配慮しながらきめ細かな支援を行います。体の基盤づくりや、体を動かす楽しみを知りて基本的な生活スキルの獲得を支援します。また、遊びを通じた学習を促進するために、仕切り板やカームダウンスペースなどを活用し生活環境を整えます。また、障害の特性に応じて時間や空間を分かりやすく出来るようにホワイトボードやカード、タイマー等を使用し構造化を図り支援を行います。（毎日のはじまりの会・終わりの会、活動の確認と準備棚の整理整頓等）					
	運動・感覚	保育士や理学療法士、指導員等の専門的な知見から姿勢や動作の基本スキルを向上させるとともに、視覚や固有感覚、触覚などの感覚を遊びを通じて感覚統合を図るとともに、発達状況の把握を支援します。お子様の感覚の特性に応じて、環境調整などを行い、安心して過ごせるよう配慮します。活動を通して、運動の基礎を固め、身体の土台を築きます。苦手意識のある課題に対しては、内発的な動機付けを促し、段階的な指導によって身体機能の改善を図ります（サーキット、吊り下げ式遊具、ビジョントレーニング、工作、粘土・スライム遊び、ヨガ、ダンス、尻尾取り、サッカー等）					
	認知・行動	視覚、聴覚、触覚など、五感を使いながら感覚統合を促し、得られた情報を認知的に処理する能力を高めます。これにより、問題解決に必要な思考力や判断力を養います。また、情報をもとに「次に何をするか」を判断し、行動に移せる力をサポートします。さらに、遊びや日常生活を通して、形や色、音、数などを楽しく学び、行動の手がかりにします。お子様の特性に合わせたサポートも行い、安心して成長できる環境を整えます。（興味のあるアイテムを使用した動機付け、集団の中での役割の提供、ポイント制度を活用した自発的行動の促進等）					
	言語コミュニケーション	集団での活動や遊びを通して、友達との関わり方を学び、コミュニケーション能力を育みます。言葉だけでなく、身振り手振りや絵カードなど、様々なツールを活用し、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを理解したりする練習をします。また、友達と協力して課題を解決する活動を通して、協調性も養います。（SST、ボードゲーム、推理ゲーム、集団遊び等）					
	人間関係社会性	集団遊びや公共施設での活動を通して、友達と協力し、ルールを守りながら遊ぶことを学びます。遊びの中で、自分の気持ちや相手の気持ちを理解し、感情をコントロールできるように支援します。SSTなどのプログラムを取り入れ、日常生活に必要な社会性を養います。例えば、お買い物学習や施設見学を通して、社会のルールを学び、集団行動の練習を行います。（SST、お買い物学習や施設見学などの課外活動等）					
家族支援	子どもの集団での行動や課題を共有し、具体的なエピソードや動画を通じて、その背景にある発達段階や、家庭でできる具体的な声かけや遊び方を提案します。また、他の家族との交流機会を設け、子育ての悩みを共有したり、情報交換したりできる場を提供することで、支え合えるネットワーク作りを促進します。集団での経験を通して、子どもたちが自信を持って人との関わりを築き、健やかな成長をサポートします。	移行支援	学校生活や各事業所での生活の情報共有を会議を通して行います。日常生活でお子様安心して過ごせるように環境調整や見直しをもてる声掛け等を先生方と共有します。またお友達との関わり方や集団参加を促せるよう支援を行います。				
地域支援・地域連携	子どもたちが社会的スキルを身につけ、地域社会に参加できるよう支援します。地域の関係機関と連携し、小学校や医療機関、児童相談所との協体制を通じて、インクルーシブな環境作りを推進します。地域集会やネットワーク会議を通じて、地域社会全体での子育て支援体制を整え、集団活動を通じて子どもの発達をサポートし、地域全体の支援体制を充実させます。	職員の質の向上	定期的な外部講師を招いての研修会、社内研修会の実施				
主な行事等	おやつ買いイベント、クッキングイベント、交通安全教室、かき氷イベント						